

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課
電話 (018876) 代 2100番
印刷所 潮東印刷所 電話 (018876) 2430番
一部 5円 郵便番号 018-177 毎月 1日・15日発行

ひたすらきれいな町づくりをめざして

ゴミの投げ捨ては法律以前

— きれいな町づくりはみんなの力で —



お広報紙中にあります写真を欲しい方には

少しかたい文章になるが、一般家庭の日常生活から排出されるゴミやし尿などの一般廃棄物の処理は、昭和26年にきめられた清掃法の規定に基づいて町の清掃事業はすすめられてきた。

しかしながら、清掃法の規定では大半の産業廃棄物の処理は、事実上排出者にまかされていたため不法に投げ捨てる現象が、全国的にクローズアップされた。それも公共用水域の汚濁がきわめてひどくなり、日常生活にいろいろな害がみられてからであった。

続く不法な投げ捨て

あわてた国の担当省では、昭和45年12月清掃法の全面的な改正をして、新たな法律が同46年9月から行われ現在にいたっている。

にもかかわらず不法に投げ捨てられるゴミは後を絶たないばかりか、年々量が増していると言われる。それも燃えるゴミから、耐火

久消費財である、冷蔵庫、洗たく機、テレビなど燃えない粗大ゴミが主流を占めるといわれる。言ってみれば、法律をいくら改正し続けても、私たち1人1人の認識が低くければ、どうしようもないことなのである。

青く透明な心境に

わが町も「日本一きれいな町づくり」のキャンペーンをくり広げて数年になるが、ちょっと足をふみ入れてみると、いたるところ不法投棄のごみで埋まっている。何ともやり切れない心情になる。

53年度から、町では町内を専間に清掃する車を設けた。町中をきれいにするために今計画的に清掃をすすめているが、この作業班とて限度がある。つまるところ、自分のごみは自分で処理する基本姿勢を忘れてはならない。それが清掃車の青空号の名に恥じない、青く透明な心境になり得る唯一の方法ではないか。

補正額一億七千六九九万円

二十七億七千三三四九万円となる

万7千円の黒字見込み

温水プールなどに着手～

予算外九件の審議を行い、七月一日原案どおり可決して終つた。加賀谷町長から議案説明の前に五十二年度各会計決算見込みの報告があった。それによると一般会計は、歳入総額が二十五億一千二百九万一千円で、歳出総額が、二十四億七千二百六十三万七千円となり、実質収支は三千九百九万七千円の黒字が見込まれている。このたびの一般会計補正額は、二億七千六百九十九万円で主な事業は、磯ノ目土地区画事業地内中央線の改良、第二次林構追加事業、運動公園地内に予定している温水プールの建設事業などである。既定予算額と合せると、二十七億七千三百四十九万円となり、昨年同期と比較して二八・〇%の伸び率となつていて。

水田利用再編対策については、各農家の皆さんをはじめ、関係団体のご協力を得てすすめている。

◎転作面積目標を九・六%上回る
が、六月十日現在の届出転作実施目標面積を二〇・八%、九・六%上回っている。

計画の状況は、一二二・八%で、初計画五〇%を五四・三%、二七・一五%上回っている。

飼料作物などは十二月精算

が、六月十日現在の届出転作実施目標面積を二〇・八%と九・六%上回っている。

この基準面積に、各農家ごとの扶助金と全体の六二・八%を占め、当

き日引受平均反収（町平均五四・四キロ）自己開田分については三九

〇キロをそれぞれ掛け、総生産量を九、一〇七、四四一トン（十五万一千七九〇俵）と推定した。

この中から農家のみなさんが食

べる保有米九〇九、三七〇トン（一万五千五百六十俵）を差し引き、

残り八、一九八、〇七一トン（十三万六千六三四俵）を出荷可能数

量として、この数量と買入限度数量との比率九一・五%を、各農家の出荷可能数量に掛けて配分している。

翌年の転作協力者に加算配分

である。

ただし、飼料作物、稲の青刈、秋まき麦などについては、十二月

の精算払いのとき、一括に支払い

たい。

限度数量十二万七千三百俵

予算前にも農家へ支払いたいと考え
ます。また、本年産米に限り、特に配
慮した点は、五十二年度において
転作に協力していただいた農家に
対し、二千三百八二俵を加算したこ
とである。

十月から特急あけぼの停車
五十三年度米の政府買入限度数
量の配分状況については、本町に
対する政府買入限度数量から申し
上げると、うち七、五七八、八、八
千三百俵）となつていて。

磯ノ目土地区画整理事業につ
いては、地区内中央線改良（延長七
〇〇筋）にともなう、管理者負担

金の交付方國や県に要望していた
ところ、このたび五千万円の内定

があつたので補正計上している。

町長：当初予算二十億八千八百万円の歳入に対し、決算時点の歳入

が二十五億一千二百九万一千円で
四億二千四百九万一千円の増加に

なつていて。

私もときおり北口の沢に足を入

れる機会がある。その都度地元の

みなさまのご好意に感謝しながら

それに甘えすぎではないとい

う気持で一杯である。がしかし、

六月二十六日から開かれた町議会定例会は、一般会計補正予算外九件の審議を行ひ、七月一日原案どおり可決して終つた。

この配分方法は、五十三年の耕作面積を調査した結果、四年の耕作面積を、五十四年を含めて、一、七九二、三

〇%を引き去り、一、六八〇、三四%を配分の基礎面積とした。

このブールは雇用促進事業として、本町に建設することが、三月十日付で内定を受け、その後合同建築すべく話し合いをすすめてい

たが、このたび協議が整い雀館運動公園地内に、年中利用できる運動施設として、室内温水プールを建設したい。その事業費として、

九千二百九十九万二千円を補正して

いる。事業内容は、二十五筋、

七コースで、日本水泳連盟公認ブルの格付けをもつたブル本体

と、鉄筋コンクリート造り、一部

二階建一、五〇七平方筋の建物で

総工事費一億六千五百萬円となる

が、このうち事業団分は、七千九

五百五十万円、町の合同建築費は八

万二千円を見込んでいた。

このことは、とりもなおさず補助事業の導入と、それにともなう

予算で八・九%であったものが、

八・七%になつていて。

このことは、とりもなおさず補助事業の導入と、それにともなう
予算で八・九%であったものが、
八・七%になつていて。

四トン、（十二万六千三
四俵）、もち米五九、一六
トン（九八六俵）、合せて
七千六三八トン（十二万七
千三百俵）となつていて。
正式には、ダイヤ改正の十月か
ら実施されるが、八郎潟駅に停車
する時刻は、下り七時四十二分、
上り二十時三十分となる見込みで
あります。

また、このダイヤ改正とともに、現在山形、秋田間を運転して
いる急行「こまざ」が、山形、青森まで延長されるが、これも八郎潟駅に停車することになつていて。
現されることになった。

正式には、ダイヤ改正の十月から実施されるが、八郎潟駅に停車する
する時刻は、下り七時四十二分、上り二十時三十分となる見込みであります。
また、このダイヤ改正とともに、現在山形、秋田間を運転して
いる急行「こまざ」が、山形、青森まで延長されるが、これも八郎潟駅に停車することになつていて。
現されることになった。

このことは、とりもなおさず補助事業の導入と、それにともなう
予算で八・九%であったものが、
八・七%になつていて。

このことは、とりもなおさず補助事業の導入

52年度一般計 3千9百9

～林業協業センター・

この町は第一次産業が主体なので、当然そこから上ってくる所得と、これに応じた人口というバランスがくずれた部分が町外に流出しているものと受けとめている。さらに、町外に所得源を求めるなら、それを行使するのは町内であるなど、生活の利点、利便のウエートをどこに置くかが後段の問題ではないかと思う。

田舎の良さと都会機能を充実

今のところ、しばらくこしんぼうをお願いせざるを得ない状況で、二万町民のために是非ご協力をお願い申し上げたいところである。

じんあい処理に近々結論

し尿、じんあい処理に関する常に検討しているところであるが特にじんあい処理に関しては、出来得れば今、明年度中には何とか仕事に着手したい。近々結論を出されようとしている段階なので、今しばらくのご協力をお願ひしたい。粗大ごみの投げ捨て防止対策については、ご提案の内容を検討して処理したい。

質・人口減の原因とその対策

町長：人口減には二つの面があるものと受けとめている。その一つは、所得源の確保である。今一つは、生活環境に対するものとの価値判断などであろうかと思う。

所得と人口のバランス

町長：人口減には二つの面があるものと受けとめている。その一つは、所得源の確保である。今一つは、生活環境に対するものとの価値判断などであろうかと思う。

みなさま方のよいアイデアがあれば、何時でも取りあげていきたい。

質・勝共（しようきょう）連合（思想新聞）の謀略的活動（訪問販売、寄付行為）から、町民の被害をなくするために申し入れ

一、被害受けの窓口を役場に

防犯協会と話し合いながら

町長：もしも今ご指摘されたようなことが町内に発生しておるとすれば大変なことである。

これは防犯協会などとも話し合ってより多くの者に所得の配分をゆきわらせてることである。従つて工場誘致、地元産業への助成、あるいは、新しい企業経営に対する定着心などの推進が、この対策の一つと考えてもらつて結構でないかと思う。

質・磯ノ目開発と行政区画について

後段の生活環境については、そこの人の価値判断に基づく利便さをどこにおくかということである。

根本的には田舎的な良さというものを更に再発見しつつある。それからやはり都会的なものを田舎の中に取り入れていくことが、それぞれの対策になろうかと思つて

三年の見込みであった橋も、二カ年でできることになった。それに対応して役場庁舎等の問題も一応考へた理由の一つである。

橋ができるによって、交通的にも便利になり、さらにその延長が二八五号線に路線変更になるわけで、重要な地域になってくる

ところである。

その意味で、史跡の保護である

それは体育館の新設、新しい考え方に基づく校舎の建設など、都会

的の生활様式を田舎の中に入れていくという意味において対策になる

と思っている。

ないかと予測している。

今後住宅建築の加速度も増していくと思われるが、整然とした市街地を造るよう検討していかない

ので明確にお答できないが、他の区域ならびに周辺の土地所有者にアンケートをとり、路線名の決定

町内区分をしたい。

新しい町内に関しては、ある一定の水準に達した場合に新町内会としての機能を独立する。

それまでは、隣接する町内会の理事業もおかげさまであるように形が整つたが、登記完了までを完了とするならば、いろいろな問題が相当出てくるものと思われるの

で、より一層のご協力とご叱声をお願い申し上げたい。

本年三月三十一日付の税法の改

正により、特別土地保有税の免除

対象土地であるか否かを認定する際、町長が諮詢する機関として特別土地保有税審議会を条例で定め

めに設置しなければならないこと

になつたので、同審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定める条例。

五城目町特別土地保有税審議会条例制定

本年三月三十一日付の税法の改

正により、特別土地保有税の免除

対象土地であるか否かを認定する際、町長が諮詢する機関として特別土地保有税審議会を条例で定め

めに設置しなければならないこと

になつたので、同審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定める条例。

五城目町職員定数条例の一部改正

本年三月三十一日付の税法の改

正により、特別土地保有税の免除

対象土地であるか否かを認定する際、町長が諮詢する機関として特別土地保有税審議会を条例で定め

めに設置しなければならないこと

になつたので、同審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定める条例。

昭和五十二年度林業構造改善連整備緊急対策事業により、中村館越、浦横町の三ヵ所に設置した

林業集会研修所について、その設置及び管理運営を規定する条例。

管理運営については、所在地の部落会長に委託するものであるが

使用許可、その他必要な事項については、別に規則で定める。

四、国民健康保険税については、課税限度額の引き上げ改正を行つた。

三、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き下げを行つた。

五、国民健康保険税については、課税限度額の引き上げ改正を行つた。

六、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

七、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

八、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

九、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十一、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十二、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十三、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十四、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十五、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十六、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十七、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十八、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

十九、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

二十、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

二十一、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

二十二、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

主な内容は次のとおり。

五城目町林業集会研修所条例制定

昭和五十二年度林業構造改善連整備緊急対策事業により、中村館越、浦横町の三ヵ所に設置した

林業集会研修所について、その設置及び管理運営を規定する条例。

管理運営については、所在地の部落会長に委託するものであるが

使用許可、その他必要な事項については、別に規則で定める。

四、国民健康保険税については、課税限度額の引き上げ改正を行つた。

三、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

二、法人の町民税については、税

率の改正を行つたこと。

一、個人の町民税については、等割の非課税の範囲に関する算定基準額を引き上げたこと。

昭和五十二年度林業構造改善連整備緊急対策事業により、中村

館越、浦横町の三ヵ所に設置した

林業集会研修所について、その設置及び管理運営を規定する条例。

管理運営については、所在地の部落会長に委託するものであるが

使用許可、その他必要な事項については、別に規則で定める。

四、国民健康保険税については、課税限度額の引き上げ改正を行つた。

三、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

二、法人の町民税については、税

率の改正を行つたこと。

一、個人の町民税については、等割の非課税の範囲に関する算定基準額を引き上げたこと。

昭和五十二年度林業構造改善連整備緊急対策事業により、中村

館越、浦横町の三ヵ所に設置した

林業集会研修所について、その設置及び管理運営を規定する条例。

管理運営については、所在地の部落会長に委託するものであるが

使用許可、その他必要な事項については、別に規則で定める。

四、国民健康保険税については、課税限度額の引き上げ改正を行つた。

三、特別土地保有税については、所得割額及び資産割額については、その率の引き上げ改正を行つた。

二、法人の町民税については、税

率の改正を行つたこと。

一、個人の町民税については、等割の非課税の範囲に関する算定基準額を引き上げたこと。

昭和五十二年度林業構造改善連整備緊急対策事業により、中村

館越、浦横町の三ヵ所に設置した

林業集会研修所について、その設置及び管理運営を規定する条例。

管理運営については、所在地の部落会長に委託するものであるが

使用許可、その他必要な事項については、別に規則で定める。

四、国民健康保険税については、課税限度額の引き上げ改正を行つた。

1978・7・1

広報ごじょうめ

第351号

選挙特報

五城目町農業委員会委員一般選挙

農業委員会委員の統一選挙が七月十四日行われます。この委員は農業生産力の発展および農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与することを目的とした、農業および農民の一般的利益を代表するものです。棄権することなく候補者も運動員も行き過ぎの運動や、誤った行為のない民主的な選挙確立のため、細心の努力をしてくださいとお願いいたします。

◎ 告示日 ならびに投票、開票日はつぎのとおりです。

告示日 七月 十四 日
投票日 七月 十四 日

(午前七時から午後六時まで)
開票 七月十四日

(即日開票午後七時三十分から)

▼ 繰り上げる投票所および時間
馬場目第二投票所(恋地、坊井地、杉沢、落合、蛇喰、北ノ又)
午前七時～午後五時(一時間)
所は次のとおりです

○ 委員の定数

選挙される委員 十七名

推せんによる委員は農業協同組合の理事、農業共済組合の理事の内から各一名と、町議会が推せんする学識経験者五名以内からなつております。

① 選挙区と委員の定数

選挙による委員十七名は次のとおりです。

第一選挙区 富津内、内川地区 六人
第二選挙区 五城目、馬場目地区 七人
第三選挙区 大川、面瀬地区 四人

◎ 選挙会(開票)は次により行われます。

第一選挙区 富津内地区コミュニティセンター集会所

七月十四日 午後七時三十分

第二選挙区 大川出張所会議室

七月十四日 午後七時三十分

第三選挙区 大川出張所会議室

七月十四日 午後七時三十分

第一選挙区 五城目町役場第一会議室

七月十四日 午後七時三十分

投票所は十一ヶ所

富津内第一投票所

(富津内地区コミュニティセンター集会所)

富津内第二投票所(富津内中学校理科室)

内川第一投票所(湯ノ又公民館)

内川第二投票所(内川児童館)

第一選挙区

五城目第一投票所(五城目町役場第三会議室)

五城目第二投票所(五城目町公民館馬川分館)

馬場目第一投票所(馬場目児童館)

馬場目第二投票所(杉沢公民館)

第三選挙区

大川第一投票所(大川出張所会議室)

大川第二投票所(西野公民館)

面瀬投票所(森山公民館)

○ 選挙人名簿

農業委員会委員の選挙に使用する名簿は、昭和五十三年一月一日現在における、本人の申請にもとづき、有権者資格を調べ、それを昭和五十三年三月三十日で確定した名簿です。従つて普通一般の選挙で使用されます永久選挙人名簿とは違い、選挙時登録の制度もありません。

○ 投票時間と選挙会
投票時間は、馬場目第二投票区だけは午前七時から午後五時までですが、他の十投票区は午前七時から午後六時までとなっています。
また、午後七時三十分から各選挙区ごとに選挙会(開票)が開始されます。
但し無投票になつた場合の選挙会は十五日午前十時より五城目町役場第一会議室において開催いたします。

○ 不在者投票

選挙の当日、投票所におもむいて投票することができます。不在者投票は、選挙の告示の日(七月七日)から投票日の前日(七月十三日)まで毎日午前八時三十分から午後五時までできます。
また不在者投票用紙等の請求は告示日の前でもできます。

ただし、郵便による不在者投票に関しては、選挙の期日前四日(七月十日)までに、その登録されている選挙人名簿の属する市町村の選挙管理委員会の委員長に対して、選挙人が署名(自署)した文書により、かつ、郵便投票証明書を提示して、投票用紙および投票用封筒の交付を請求することができます。

○ 立候補の届出

立候補の届出は、七月七日(告示日)午前八時三十分から受付七月八日午後五時までです。届出の方法は、立候補者が届出する場合と推せんによる届出とがあります。届出者は、届出用紙等準備しておるので選挙管理委員会においでください。

○ 入場券の配付について

入場券は、近日中に農政協力員を通じて配付します。投票所等を確認して捺印のうえ選挙当日投票所へご持参ください。その他ご不明の点は、選挙管理委員会に電話等でご連絡ください。(電話二二〇〇)

◇ 正しい選挙で明るい農政 ◇

1978・7・1

五城目町文学祭

短歌部門作家賞 阿部ミワさん

六月十三日午後一時から、町民センターで五城目町文学祭が開かれた。これは、文化活動の振興の一環として、町教育委員会と五城目町芸術文化協会(会長安東誠)が主催するものである。町民が文学に関心を持ち、ひとりひとりが創作意欲を高め、文学爱好者層が厚くなることをねらいとして毎年行われている。

今回も広く町民から短歌、俳句、川柳、詩、隨筆の五つの部門にわたりて作品を募集し、その中からすぐれたものを表彰して、文学作品集中に収録した。今までの作品の応募は、年配者にかたよっていたが、今回は若い人の応募も多く、中には親子で応募し、共に入選した人もいた。今後、このような例が多くなって欲しい。



詩と隨筆部門に入選した鍋谷きよみさん

「危い！」と思ったがもう遅い。ドスンという重々しい音とともに少年の体が宙に浮いた。事故である。自転車と自動車の事故である。今から半年前、私がある店の角から出たときだった。向こう側から、ものすごいスピードでやつてくる自転車が目にに入った。ああ、なんて荒々しい、乱暴な運転の仕方をするんだろう。

次の瞬間、この自転車が、今、この交差点で事故を起こすのではという不安が私によぎった。するとそのとき、車が走つてくる気配がした。私はあわてて四方の路上を見わたした。車は頑度、自転車と交さる方向からきていた。

このまま両方もとも、方向を変えないで進むと、どちらかが、交差点前で一時停止をしなければ：本当に交通事故になる。

祈るような気持で見つめた私の願いもむなしく、その結果は：がやがやと人が集まってきた。自動車にはねとばされた少年は幸いにも、まもなく意識を取りも

ら私は、どちらが悪いと決めつけることはできない。

けれど多くの人は、車の運転手が悪いと見る、いや、見たがるケイ수가多い。まして、このような事故になると相手は少年。しかし私は、もっと事故の深い原因に目を向けたいものだと思う。決して

私は、運転者をかばって、こんなことを言っているのではない。事故を起こした者は、平等にその責任を負っているということの自覚が必要だと思います。そして今後、私達が気をつけなければならないことは、個人的に事故に会わないよう注意することと協力して注意をしあうことではないだろうか。

今回の事故の場合、自転車に乗っていた少年も、車を運転している人も、スピードを出し過ぎていたし、一時停止しなかった。だか

悲惨で恐ろしいもの

五城目第一中学校 一年 金子 美和

どし、自分から起きて歩き始めたので安心したもの、この出来事が必要だと思います。そして今後、私が活発で川柳など創作グループがたくさんあり、新聞などへの投稿は県内でも上位をしめている。

本町は文学活動が進んでおり、入選者は次のとおり。

▼短歌部門
・作家賞 阿部ミワ
(上田町)

・秀逸 小熊正明(大川)
・秀逸 松橋正之助(浅見内)
・佳作 工藤ミネ子(浅見内)

・佳作 佐藤ミネ子(川崎宮花)
・佳作 佐藤養三(小倉)
・佳作 工藤ミネ子(浅見内)

・川柳部門

・秀逸 鍋谷福枝(長町)
・秀逸 伊藤一郎(町村)
・秀逸 佐藤千葉(鶴谷)

・詩部門

・作家賞 今野一城(米沢町)

・作家賞 佐藤千葉道子(五一中)

・佳作 猿田直征(大川)

・佳作 藤原文(田町)

・入選 鍋谷きよみ(長町)

・入選 鍋谷きよみ(長

1978・7・1

年金問い合わせ・お答え

受給権のない人の救済のために

質問：私も将来のことが心配になる年齢になり、はずかしいのです。が、今となって年金制度について、関心を持つようになります。先日テレビで、国民年金の法律の一部が変わった、と放送していましたが、どんな点が変わったのか、その具体的な内容についておしえてください。

回答：最近、テレビや新聞などで年金の法律改正の話題が出ていますが、その中心はなんといってもいわゆる「無年金対策」です。



内川川のクリーンアップ

6月4日、浅見内部落会は、部落内を流れる内川川の清掃を行った。浅見内部落会では、田植の終った6月の第1日曜日を「内川川のクリーンアップの日」と決めており、部落内の全戸から1名づつ参加する恒例の行事となっている。今回も100名以上の人人が参加し、約2キロメートルにわたって、ゴミ拾いに、川岸の雑草やかん木の刈払いに汗を流した。

国民年金では、原則として六十歳になるまでに二十五年間以上、年齢によつて十年から二十四年までに二十歳を除いて、日本人であれば二十歳

を除いて、日本人であれば二十歳から六十歳までの人はいずれかの年金制度に加入していることになります。さらに国民年金法のうえでは、国民年金以外の年金に加入している人の配偶者と年金受給者と学生を除いて、日本人であれば二十歳から六十歳までの人はいずれかの年金制度に加入していることになります。

国民年金法のうえでは、国民年金以外の年金に加入している人の配偶者と年金受給者と学生を除いて、日本人であれば二十歳から六十歳までの人はいずれかの年金制度に加入していることになります。

将来のことが心配

今年の法改正の中味は

で短縮されます)保険料を払い込まれれば老後に老齢年金の受給資格がありません。しかも、年金法では保険料を未納のままにして二年過ぎると時効で納められなく

っています。しかし、現実にはいずれの年金制度にも加入していない人もいます。これらの方たちを救済するためにこれまでの二年の時効を解除して、国民年金の制度ができた昭和三十六年四月以降

の未納、あるいは未加入の期間の分も納めることができるよう

にしたのが今回の改正の中心です。

ただし、この過去の分の保険料を納めることのできる人は、明治四十四年四月二日以降に生まれた、必ず加入していなければならなかった「強制加入者の期間」に限られています。

さかのぼって納める保険料の額はすべて月額四千円となって

います。

この最後のチャンスを見逃すことなく早めに役場住民課国民年金事務担当へ手続きをして、期間内に保険料を納めるようにすることが得策かと思います。

天保三年といえば飢饉のはじま

中あり、石仏の前を流れる冷水は、小滝から集められ、せせらぎの音となってあたりに滲透していく。

涼氣と共に霊場の感が深められていく。

天保三年といえど飢饉のはじま

は悲惨な飢餓の状態へと入っていく。

悲惨な飢餓の状態へと入っていく。

が、石仏の破損はその悲惨な歴史を担っているように見えて迫ってくる。



五城目町の石仏

(18)

小川元生

こわれた石仏は痛々しい。この

場所には七基の観音像が並んでい

るが、昭和に建立された一基をのぞいて、他の石仏は皆ひどく破損

している。

この一基に天保三年の紀年銘があり、かすかに読みとれる。他の壊れた舟型光背の石片の裏に、天と刻まれた文字が見えたりしてい。急傾斜な谷の山肌を背にした

悪い条件な場所に造立されているせいか、滑り落ちる雪の重圧や雨滴

きびしい凍りの自然現象によつて

目のあらい森山石は破損されてい

く。しかし夏は鬱蒼とした木陰の

ができた昭和三十六年四月以降

の未納、あるいは未加入の期間

の分も納めることができるように

救済するためにこれまでの二年の

時効を解除して、国民年金の制度

ができた昭和三十六年四月以降

の未納、あるいは未加入の期間

の分も納めることができます。

救済するためにはこれまでの二年の

時効を解除して、国民年金の制度

ができた昭和三十六年四月以降

の未納、あるいは未加入の期間

の分も納めることができます。

救済するためにはこれまでの二年の

時効を解除して、国民年金の制度

ができた昭和三十六年四月以降

の未納、あるいは未加入の期間

の分も納めることができます。

救済するためにはこれまでの二年の

時効を解除して、国民年金の制度

ができた昭和三十六年四月以降

の未納、あるいは未加入の期間

身体障害者(肢体)巡回相談

印かんをお忘れなく

第八集「五城目町の文化財」

希望者は五城目町公民館まで

つぎの内容により、身体障害(肢体)者に対する巡回相談がありますので、希望の方は気軽におい

ます。五城目町公民館では冊子「國版五城目町の文化財」(第八集)の残部を、希望者に無料で配布している。希望者は五城目町公民館(電話四四一一)まで申し込んでほし

